

ふくおかの経済

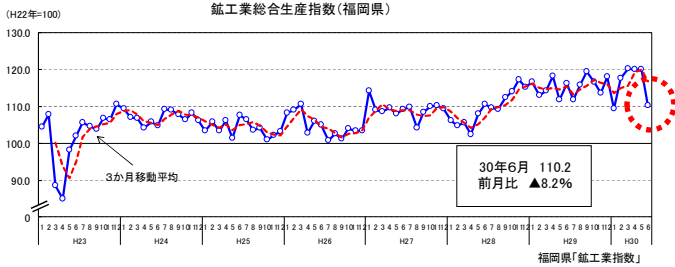
平成30年8月号



生産

高水準で推移

6月の生産指数は、輸送機械工業などが低下して、前月比で2か月ぶりに低下したものの、引き続き高水準で推移しています。

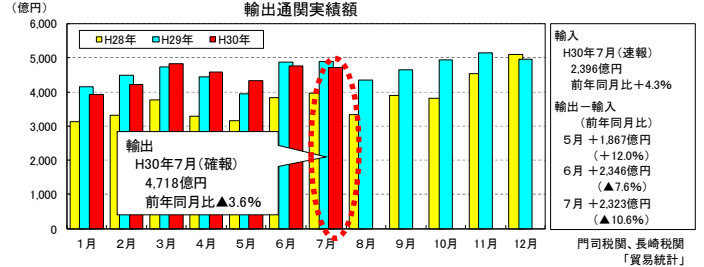


鉱工業生産指数は、平成22年の生産水準を100として、その変化を表しています。

貿易

輸出は高水準で推移、輸入は回復している

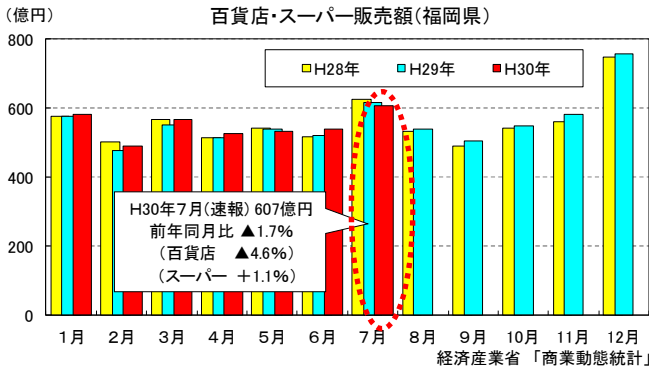
7月の輸出は、米国・西欧向け自動車などの減少により2か月連続で前年を下回ったものの、引き続き高水準で推移しています。



消費

緩やかに増加している

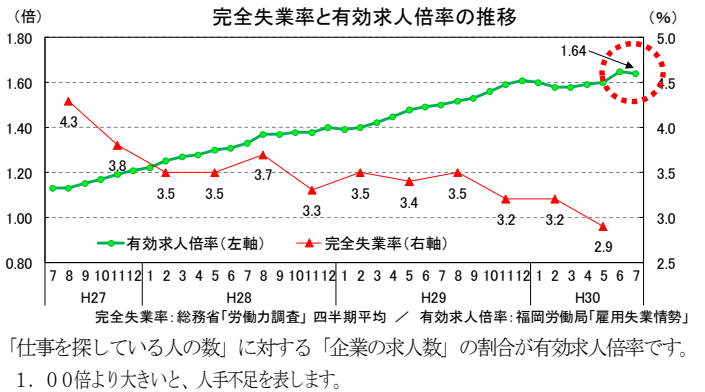
7月の百貨店・スーパー販売額は、化粧品・高額品の動きはよかったものの、天候不順やセール前倒しの影響などから、2か月ぶりに前年を下回りました。



雇用

着実に改善が進んでいる

7月の有効求人倍率は1.64倍で、5か月ぶりに前月を下回ったものの、過去最高の水準で推移しています。



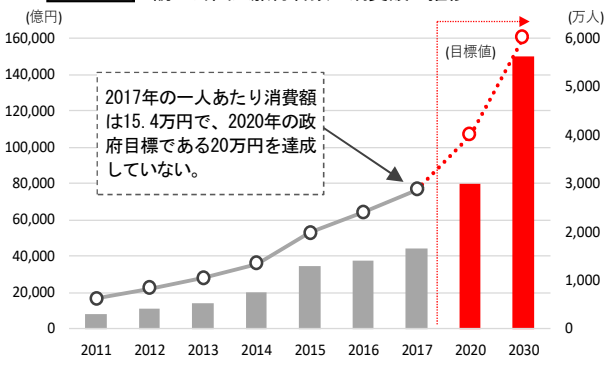
今月のトピック ナイトタイムエコノミーに注目! ~旅行支出拡大の秘策?~

○日本を訪れる外国人観光客が急増しています。2016年のデータでは、日本の外国人訪問者数(16位)や国際観光収入(11位)は世界トップ10に入りつつあり、政府では外国人観光客消費の更なる拡大を目指しています。

○政府目標の達成のためには、外国人観光客一人あたりの旅行支出を増加させる必要があります(図表1)。

○旅行支出(2013年)の内訳をしてみると、娯楽サービスの占める割合は1.1%で欧米(7~10%程度)に比べて低く、外国人旅行者が夜間帯の観光に不満を感じています(図表2)。欧米では夜間のショーなどの娯楽消費(ナイトタイムエコノミー)が活発で、観光客の娯楽消費を拡大させる要因となっており、ナイトタイムエコノミーは旅行消費拡大のための秘策となるかもしれません。

図表1 訪日外国人旅行者数と消費額の推移



図表2 訪日外国人が不満に感じたこと

順位	サンプル数	全体	アジア全体				欧米豪全体			
			韓国	中国	台湾	香港	米国	英国		
1	英語の通用度	22%	23%	22%	11%	24%	37%	16%	17%	15%
2	母国語の通用度	17%	18%	16%	18%	21%	25%	11%	9%	19%
3	旅行代金	13%	13%	9%	9%	9%	15%	20%	22%	15%
4	日本の酒(日本酒・焼酎)	8%	7%	6%	9%	7%	6%	9%	7%	11%
5	外貨両替	8%	8%	5%	9%	10%	7%	8%	13%	4%
6	現地の安価な食事	8%	8%	7%	10%	6%	6%	6%	2%	11%
7	ナイトライフ体験	7%	8%	9%	8%	7%	9%	6%	15%	7%

データ出所) DBJ・JTFB「アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査(平成28年版)」

(トピック担当: 横溝)